

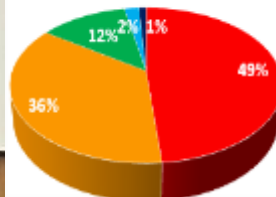


1 地域課題、ITで未来拓け



質問に答える講師の皆さん

「探究」の参考になりましたか？



- ・とても思う
- ・やや思う
- ・どちらともいえない
- ・あまり思わない
- ・全く思わない



講演会の様子

5月2日(木)、「ITによる地域課題の解決事例(主催:いばらきP-TECH)」についての講演会が、県立水戸商業高校の情報ビジネス科2年生80人を対象に行われました。これは、ITを活用した探究授業において各生徒が探究を進める中で、一人ひとりにアドバイスする「メンタリング」の一環として実施されたものです。講師は県立IT短大と二つの企業が担当しました。

県立IT短大の落合講師からは、AIを活用した通行量調査事例の報告がありました。これは水戸市の依頼で水戸駅への往来を性別判定も可能としたものです。続いて、株式会社アプリシエイトのeスポーツ事業に関わる鶴見佑希氏は、eスポーツによる地域の活性化・デジタル人材の育成、まちづくりの一翼を担うモデルを紹介されました。最後に、株式会社ケーシーエスの寺門勝美氏は、温度分布を地図情報にマッピングする可視化技術を披露し、放射線量の可視化事例も紹介され更なる活用が期待できると話されていました。

受講した高校生は「AIを用いた通行量調査は面白いと感じた」、「eスポーツが交流に使い、世代もつなぐなど未来的で素晴らしい」、「放射線量の可視化は、災害時や日常生活でも役立つ技術だと思う」、「企業は、改善すべき事、あったら便利な機能を生み出していた。私も課題を発見し解決策を見出していきたい」、「探究でどんなことをテーマにしたらいいか分かってきた」などの声がありました。

2 恩師訪問に喜ぶ学生

県立勝田工業高等学校の鈴木新先生と大原祐斗先生が来校され、情報管理システムの授業を見学されました。

プログラムを説明した齊藤諒悟(勝田工卒)さんは「お世話になった恩師と、久しぶりに話せて嬉しい」と話していました。



恩師に出会い喜ぶ齊藤諒悟さん

3 企業からの応援メッセージ!

株式会社ケーシーエス

株式会社アプリシエイト

KCS Corp.

株式会社アプリシエイト



寺門勝美さん



鶴見佑希さん

本校からも多数の卒業生が入社している、株式会社ケーシーエスの寺門勝美さんと、株式会社アプリシエイトの鶴見佑希さんから、本校の学生へのエールと大学校化に向けての期待を頂きました。

